

平成30年度
自己評価

提出日 平成31年3月4日(月)

石塚保育園

評価項目

| | 評価項目 | 評価 |
|----|--|-----------|
| 1 | 保育理念に基づき園が運営されているか | 5・4・3・2・1 |
| 2 | 園の状況を踏まえた保育目標等が設定されているか | 5・4・3・2・1 |
| 3 | 園の保育課程の編成・実施の考え方について、教職員間の共通理解がなされているか | 5・4・3・2・1 |
| 4 | 保育指針について、個々の保育者が理解しているか | 5・4・3・2・1 |
| 5 | 指導計画の立案と実施が適切になされているか | 5・4・3・2・1 |
| 6 | 保育課程に沿った乳幼児の発達に即した指導がなされているか | 5・4・3・2・1 |
| 7 | 乳幼児の病気やけが等の情報提供が行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 8 | 日常の健康観察や疾病予防のための取組、健康診断が実施されているか | 5・4・3・2・1 |
| 9 | 避難訓練等を通して、保育者・園児の安全対応能力の向上を図るための取組がなされているか | 5・4・3・2・1 |
| 10 | 特別な支援が必要な幼児のための施設や学校の利用者との交流が図られているか | 5・4・3・2・1 |
| 11 | 園と医療・福祉などの関係機関との連携がなされているか | 5・4・3・2・1 |
| 12 | 職員会議、ケース会議等が定期的に行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 13 | 園内研修が定期的に行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 14 | 園外研修に参加しているか | 5・4・3・2・1 |
| 15 | 自己研鑽による職員の資質の向上が図られているか | 5・4・3・2・1 |
| 16 | 自己評価が行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 17 | 園に関する様々な情報提供（園便り、参観日等）が行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 18 | 施設運営への保護者、地域住民の参画及び協力が行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 19 | 子育ての支援（延長保育等）が行われているか | 5・4・3・2・1 |
| 20 | 遊具、玩具、絵本等が整備されているか | 5・4・3・2・1 |

評価（例） 5…十分達成されている、4…達成されている、3…どちらでもない、2…取り組まれているが、成果が十分ではない、1…取組が不十分である など

保育者としての資質や能力・良識・適性

| 内 容 | | 評価 |
|--|---|--|
| 1、専門家としての能力・良識・義務 | | |
| [専門家としての能力] | | |
| ① | 保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている | 2 |
| ② | 保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている | 2 |
| ③ | 保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている | 2 |
| ④ | 保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している | 1 |
| [良識とマナー] | | |
| ① | 幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている | 1 |
| ② | 朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている | 1 |
| ③ | 園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない | 1 |
| ④ | 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている | 2 |
| [義務] | | |
| ① | 教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している | 2 |
| ② | 締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている | 2 |
| 2、組織の一員としての在り方 | | |
| ① | 他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる | 2 |
| ② | 子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している | 2 |
| ③ | 当番や役割による仕事を理解し確実にしている | 1 |
| ④ | 上司の指示、命令には責任を持って実行している | 2 |
| 3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ | | |
| ① | 幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている | 1 |
| ② | 社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている | 1 |
| 4、保育者としての資質や能力・良識・適性でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 保育技術や様々な情報を園内研修という形で勉強をしている。 | | |
| 5、保育者としての資質や能力・良識・適性でこれからの課題と思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● できる、できない、苦手、得意、合う、合わないといったことが誰にでもあり、お互いが補い合えば一番いいのだが、うまく消化できていないところが多々見られる。 ● 社会性や常識など基準点の設定が難しい。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● クラスや行事の仕事はやって当たり前の仕事。自分が出来ることをアピールして進めていけばいいのだが。 |

保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

| 内 容 | | 評価 |
|---|--|--|
| 1、研修・研究への意欲・態度 | | |
| ① | 研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめるよう指導している | 1 |
| ② | 他保育者の自己課題を把握し、保育のあり方や悩みについて相談を受ける環境を作っている | 3 |
| 2、遊具・教材に関する専門性の向上 | | |
| ① | 園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を他保育者が理解できるよう指導している | 1 |
| ② | 園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか予測したり、どのような使い方が危険か指導している | 1 |
| 3、園内の環境に関する専門性の向上 | | |
| ① | 園舎の構造（平屋、二階建て）や保育室・遊戯室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか指導している | 2 |
| ② | 園庭や畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか指導している | 2 |
| 4、今日的課題に関する専門性の向上 | | |
| ① | 子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもてるよう指導している | 2 |
| ② | アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもてるよう指導している | 1 |
| ③ | 幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもてるよう指導している | 1 |
| ④ | こどもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもてるよう指導している | 1 |
| 5、自らを高めるための学習 | | |
| ① | 保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心をもてるよう指導している | 2 |
| 6、研修と研究でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 園内研修により、基本的な保育教材の使い方と指導方法、お遊戯会・運動会の曲や振付、合奏の注意ポイントに注目できるようにしていること。 ● 気になる子への見るべき点や、保護者対応での間違えてはいけない点を周知 ● パソコンによる指導計画などの入力方法 | | <ul style="list-style-type: none"> ● キッズ検定項目に対応した運動・頭脳の適切な指導 ● 連絡帳の基本ポイント ● 指導計画・カレンダーの作成 |
| 7、研修と研究でこれからの課題と思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 実際の保育での役立ち感 ● パソコンが苦手な職員が多く、まだまだ時間がかかりそう。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● クラス便りの紙面の配置 ● 保育者が出来ていること（ハサミ等）を子どもの年齢や発達にに応じて教えるのがへたである。 |

- 1 よくできている
 2 まあまあできている
 3 あまりできていない
 4 まったくできていない

保育の計画性

| 内 容 | | 評価 |
|--|---|--|
| 1、園の保育理念・保育方針の理解 | | |
| ① | 園の保育理念や保育方針を理解し共感している | 1 |
| ② | 園の方針、園長の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる | 2 |
| 2、保育所保育指針の理解 | | |
| ① | 保育所保育指針を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思いうかべることができる | 2 |
| 3、保育課程の編成と評価 | | |
| ① | 園の保育課程は、保育所保育指針をふまえて園の保育理念・保育方針に従い編成している | 1 |
| ② | 1年間の子どもの成長を振り返り、保育課程を評価している | 2 |
| ③ | 園の保育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている | 2 |
| 4、指導計画の作成 | | |
| ① | 指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している | 1 |
| ② | 行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている | 1 |
| 5、環境の構成 | | |
| ① | 指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている | 2 |
| ② | 楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている | 1 |
| ③ | 幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている | 2 |
| ④ | 幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている | 2 |
| ⑤ | 異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている | 1 |
| 6、保育と計画の評価・反省 | | |
| ① | 自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている | 1 |
| ② | お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている | 2 |
| 7、保育の計画性でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| | | |
| 8、保育の計画性でこれからの課題と思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 季節を先取りし壁面製作をするとき等、経験が少ない子どもたちに与える課題の考え方。 | | <ul style="list-style-type: none"> ● 「きのこ」「かたつむり」「かえる」「あじさい」「あさがお」など見たことが無い場合も。 |

保育の在り方、3歳未満児への対応

| 内 容 | | 評価 |
|---|--|-------|
| 1、健康と安全への配慮 | | |
| ① | 朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている | 1 |
| ② | 体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど、適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している | 1 |
| ③ | 保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握している | 1 |
| ④ | 体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせるとともに、バランスの取れた発育が促されるように配慮している | 1 |
| ⑤ | 家庭と連携をとりながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に慣れ、食への意欲を育てている | 1 |
| ⑥ | 睡眠が十分とれるような静かな環境を整え、午睡の状態（呼吸・顔色・嘔吐・汗）、およびSIDS（乳幼児突然死症候群）のチェックを記録している | 1 |
| ⑦ | 一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツ交換をしたり、トイレに促している | 1 |
| 2、乳幼児のみとりと理解 | | |
| ① | 乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察して受け止め、信頼関係を築いている | 1 |
| ② | 一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している | 1 |
| 3、指導と援助 | | |
| 〔心のよりどころとして〕 | | |
| ① | 落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人との関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている | 2 |
| ② | 泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている | 1 |
| 〔遊び・活動の援助者として〕 | | |
| ① | 乳幼児の心身の発達及び生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育をしている | 1 |
| ② | 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとり、安心感と自己肯定感がもてるような言葉かけをしている。 | 1 |
| ③ | 禁止語を不必要に用いないようにしている | 2 |
| 〔その他〕 | | |
| ① | 乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている | 1 |
| 4、保育者同士の協力・連携 | | |
| ① | 保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいる保育者が適切な言葉かけや対応をしている | 1 |
| ② | 指導上配慮を必要とする乳幼児については、園全体で話し合い共通理解をもって対応するようにしている | 2 |
| ③ | 他クラスや異年齢児との触れ合う機会がもてるようにさまざまな工夫、保育の形態に配慮している | 2 |
| 5、保育の在り方、3歳未満児への対応でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> 発達段階の違いが大きい年齢なのだが、トイレトレーニングや伝承遊び、散歩などチャレンジを促す保育が多かった。 | | |

| 6、保育の在り方、3歳未満児への対応でこれからの課題と思ったこと | 具体的な例 |
|----------------------------------|-------|
| | |

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

保育の在り方、幼児への対応

| 内 容 | | 評価 |
|--|---|---|
| 1、健康と安全への配慮 | | |
| ① | 朝の登園時は特に視診を大切にしておて幼児の体調が悪くないかを確認している | 1 |
| ② | 体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している | 1 |
| 2、幼児のみとりと理解 | | |
| ① | 幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している | 1 |
| ② | 一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる | 1 |
| ③ | 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる | 1 |
| 3、指導とかかわり | | |
| 〔心のよりどころとして〕 | | |
| ① | 幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている | 1 |
| ② | 幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている | 1 |
| ③ | 幼児の話をよく聞くようにしている | 1 |
| ④ | “一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている | 1 |
| 〔遊び・活動の援助者として〕 | | |
| ① | 幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供している | 2 |
| ② | 幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている | 1 |
| ③ | 禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている | 2 |
| 〔その他〕 | | |
| ① | 幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている | 1 |
| ② | 障がい児が入園した時、個別対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている | 2 |
| 4、保育者同士の協力・連携 | | |
| ① | クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している | 1 |
| ② | 指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている | 2 |
| ③ | 他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れている | 1 |
| 5、保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> たて割り保育の実施により年長児が3歳児の面倒を進んでしてくれ、自由遊びの時には年齢にこだわらずグループを作り遊んでいる姿がある。 クラス案の中で異年齢合同での予定を入れたりし、優しい心を | | <ul style="list-style-type: none"> しろくまデー（5歳・2歳）の実施 合同クラスでの散歩 |

| 6、保育の在り方、幼児への対応でこれからの課題と思ったこと | 具体的な例 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 個性やこだわりのある子、集中力が弱かったり依存性が高い子が増えてきている。保育士の対1での指導が当たり前と思っている。 ● 家庭に鉛筆などの学んでいく必要な道具が揃えていなく、ひらがなやハサミなどの指導をお願いしなければやってもらえないので、どう子どもの指導を進めればよいのかが課題。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 宿題という形で材料を提供し、ハサミやのり、ぬり絵、ひらがなのおけいこ、本読みをお願いする。 |

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない

地域の自然や社会とのかかわり

| 内 容 | | 評価 |
|--|--|--|
| 1、地域の自然・人々とのかかわり | | |
| ① | 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている | 1 |
| ② | 地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している | 2 |
| ③ | 子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している | 2 |
| ④ | 実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している | 1 |
| ⑤ | 中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している | 2 |
| 2、小学校との連携 | | |
| ① | 園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している | 1 |
| ② | 小学校の教育内容について理解するよう努めている | 1 |
| ③ | 小学生が遊びにくることの出来る場（行事等を含む）を設けている | 1 |
| ④ | 卒業した子どもの情報を得るよう努めている | 1 |
| ⑤ | 小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている | 1 |
| 3、地域の特徴を生かした保育の展開 | | |
| ① | 畑で収穫した野菜で料理教室など、地域の気候を生かした保育を実践している | 3 |
| ② | 高齢者との交流のために、デイサービス交流・行事への参加の呼びかけなど積極的に行っている | 2 |
| 4、地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● サロン国府津が学習館である時は（月1～3回）3歳児・4歳児・5歳児が交代で行き歌など歌い、地域のお年寄りとの交流を深めている。 ● 2歳児～5歳児までのハイキング | | <ul style="list-style-type: none"> ● 10月田島へどんぐりひろい、11月・12月国府津山ハイキング、2月 観梅ハイキングで下曽我へ |
| 5、地域の自然や社会とのかかわりでこれからの課題と思ったこと | | 具体的な例 |
| | | |

保護者への対応・守秘義務

| 内 容 | | 評価 |
|---|--|-------|
| 1、情報の発信と受信 | | |
| ① | 保育者に、自分の担当する一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握させている | 1 |
| ② | 保育者が、クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用して分かりやすく伝えるよう指導している | 1 |
| ③ | 個々の子どもの様子は直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合うようにさせている | 1 |
| ④ | 保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて、保育や家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めるよう指導している | 1 |
| ⑤ | 定期的にアンケート等にて保護者の要望を聞き、子どもにとってよりよい環境づくりに努めている | 2 |
| ⑥ | 保育者に、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録させ、確認している | 1 |
| 2、協力と支援 | | |
| ① | 保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義づけをはっきりとさせてからにしている | 2 |
| ② | 保護者への支援・協力が可能な部分については、園長の指導のもと園全体で受け止め、保育者を指導している | 2 |
| ③ | 園の苦情解決システムについて保育者及び保護者に周知するように努めている | 1 |
| 3、守秘義務の遵守 | | |
| ① | 園職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らさないよう指導している | 1 |
| ② | 秘密情報（保護者、園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩しないよう教職員に指導している | 1 |
| ③ | 秘密情報の記録が破損、改造されないように管理できているか確認している | 1 |
| ④ | 秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は園長の許可を取らせている | 1 |
| ⑤ | 秘密情報の書類、電子データのコピーは施設長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分させている | 2 |
| ⑥ | 秘密情報について新たに知りえたことについては、直ちに園長に報告をさせている | 1 |
| 4、対応上のマナー・良識 | | |
| ① | 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞くよう、教職員に指導している | 2 |
| ② | 保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応するよう教職員に指導している | 1 |
| ③ | 長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えさせている | 2 |
| ④ | 保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別しないよう教職員に指導している。 | 1 |
| ⑤ | 子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう、保育者に指導している | 1 |
| 5、クレームへの対処の仕方 | | |
| ① | 保護者からのクレームの内容によっては保育者全体で検討し、共通理解のうえで対処している | 1 |
| 6、保護者への対応でよく出来ていると思ったこと | | 具体的な例 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 朝の挨拶は元気な声で「おはようございます」と言えていること。 ● 小さな怪我やトラブルをきちんと伝えるようにしていること。 ● 保護者が子どもたちへのおけいこの仕方など戸惑うことがあるようなので、クラス便りを使い、指導の方法等を写真や図解で詳しく伝えていること。 | | |

| 7、保護者への対応でこれからの課題と思ったこと | 具体的な例 |
|--|-------|
| <ul style="list-style-type: none">● 自分で転んでできた小さな傷まで「申し訳ありません」と伝えていること。など | |

- 1 よくできている
- 2 まあまあできている
- 3 あまりできていない
- 4 まったくできていない